3 武蔵野市が目指す学校教育

第四期武蔵野市学校教育計画では、教育理念「自他の幸せと豊かな社会を実現 する未来の創り手を育む」を実現するために、次の3つの方針を掲げています。





方針 I 学校での子どもの育ちや学びを支える基盤をつくる

- (1)家庭・地域と連携した教育活動の充実
- (2)関係機関・専門家との連携の充実
- (3)質の高い教育活動を支える環境の整備

方針Ⅲ 多様性を生かし、社会を形成する力を培う (6)子どもによる主体的な教育活動の推進

自他の幸せと豊かな社会を実現する未来の創り手を育む

方針Ⅱ 自らの人生を切り拓く自信と意欲を育む

(4)全ての子どものよさや可能性の伸長 (5)生涯に渡る自立した学び手の育成

4 武蔵野市の特色ある教育活動

本市の小中学校では、「自立」「協働」「社会参画」を柱とし た武蔵野市民科を進めています。"武蔵野市民科"は、自ら学 校・地域・社会などから課題を見付け、解決に向けて取り組 む学習です。

「武蔵野市改造計画 ズバリ市長に提言(第五中)」などに代 表されるこうした学びは、生徒同士が多様な視点での対話 や意見交換を行うことで、より教育効果が高まることが期待 できます。



5 中学生へのインタビュー



回答者 計63名 学校での楽しみ、学校に求める設備について聞きました(6月実施)

インタビュー場所@武蔵野プレイス・中央図書館・吉祥寺図書館

学校での楽しみは?

友達とのおしゃべり、息抜き(校舎内)

体育祭、文化祭、修学旅行等の行事

部活動



学校に求める設備は?

体育館(広さ、冷暖房)

自席以外で自習ができるスペース

教室以外で話し合い ができるスペース

図書館

発行:令和7年10月

武蔵野市教育委員会 教育企画課 学校改築係

TEL:0422-60-1972 FAX:0422-51-9264

MAIL:SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp

≪武蔵野市教育委員会リーフレット≫

令和7年11月6日

みんなで考えよう! 第3回策定審議会資料 武蔵野市の未来の学校づくり vol.4

1 学校建て替え計画審議(速報)

審議会は 13 名(校長、PTA、地域住民、学識経験者、市職員)で構成

9月18日開催 第2回審議会 News

> 9月18日開催の第二期学校施設整備基本計画策定審議会(第2回)では 主に以下の2点(①適正規模、②校舎のあり方)が議論されました。



①小中学校の適正規模(1校あたりの学級数)

武蔵野市は、学校施設整備基本方針(H27)で小中学校の適正規模を定めていますが、現規定(7学級以上)では、 学級数が少ないことによる以下の課題が想定されるため、教育的な視点から国と同様の基準に見直す方向で進んで います。

ご存じでしたか?

<中学校>1学年2学級以上

【現 行】7学級以上

<小学校>1学年1学級以上

【改正案】12~18 学級

<小学校>1学年2~3学級 <中学校>1学年4~6学級

【学級数が少ないことによる課題】

- ・生徒同士、生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編制、教育活動がしにくい
- ・クラス同士、生徒同士、教員同士が切磋琢磨する教育活動がしにくい
- ・教員一人あたりの担当業務が多い。各教科の研修体制、教員欠員の場合の指導体制が 作りにくい など

②未来を見据えた校舎のあり方

【審議会で出た主な意見】

- ・図書館・多目的スペースが校舎の中心にあり、生徒が本に親しみ、対話や交流もしやすい学校
- ・安全面を確保しつつ、PTA や地域団体と連携できるスペースのある学校
- ・職員室内にカフェスペースがあるなど、教職員が意思疎通しやすく、働きやすい学校

第3回審議会(11月6日(木)17時~)で 引き続き審議していきます。



子どもたちが通いたくなる教育環境を考えています

2 各中学校の敷地について

第二中学校 8m (#E#5m) 旧核堤小掛地 15,098 mi R7年度 生徒数:413人 学級数:12 学級 ·敷地面積:15,098 ㎡ (北側隣地に旧桜堤小跡地 6,941 ㎡あり) ·建築面積:既存 2,722 ㎡ 最大 10,568 ㎡ ·延床面積:既存 9,213 ㎡ 最大 30,196 ㎡



·敷地面積:10,591 m(+テニスコート敷地 2,305 m)

·建築面積:既存 2,565 ㎡

最大 5.295 ㎡(+テニスコート敷地 1.152 ㎡)

·延床面積:既存 7.971 ㎡

最大 8,472 ㎡(+テニスコート敷地 1,844 ㎡)

中学校6校の敷地条件(敷地面積・建ペい率・容積率など)はそれぞ れ異なっており、建てられる建物の床面積や高さには差があります。

敷地が狭い中学校では、建て替えの際に仮設校舎を建てると校庭 がさらに狭くなり、子どもたちの活動がせばまる可能性があります。

11 学級(1 学年 3 学級) 以下の中学校もあり



10.5m(#306m 19.996 m

R7年度 生徒数:442人 学級数:12 学級

·敷地面積:19.996 ㎡

第四中学校

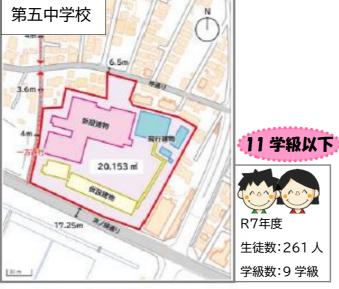
·建築面積:既存 4,759 ㎡

最大 15,996 ㎡

·延床面積:既存 15,881 ㎡

最大 39,992 ㎡

改築済



·敷地面積:20.153 ㎡

·建築面積:既存 6.196 ㎡

最大 10,618 ㎡

·延床面積:既存 10,551 ㎡ 最大 19,385 ㎡ 第一中学校 市区文化会部 11学級以下 R7年度 生徒数:348人 学級数:11 学級

·敷地面積:15.481 ㎡

·建築面積:既存 5,410 ㎡

最大 12,384 ㎡

·延床面積:既存 13,647 ㎡ 最大 30,962 ㎡ 第三中学校 13,700 m 学級数:9 学級

11学級以下

R7年度 生徒数:304人

·敷地面積:13.700 ㎡

·建築面積:既存 2,571 ㎡

最大 9,590 ㎡

·延床面積:既存8,771 ㎡ 最大 27,400 ㎡